

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第10回三郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 自主的審議事項について（公開）
- (2) 地域活性化の方向性について（公開）

3 開催日時

令和5年1月31日（火） 午後6時30分から午後8時11分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）
市村 学、伊藤光夫、小山和美、荻戸 正、平田 清、平田伸一
山口典夫、吉田一彦、渡部弘美（欠席者0人）
- ・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

8 発言の内容

【難波主任】

- ・市村委員、平田 伸一委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

【竹内会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認：荻戸委員、小山委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3 議題（1）自主的審議事項について —

【竹内会長】

次第3 議題（1）自主的審議事項について に入る。

前回の会議で、これまで審議してきた公民館と春駒の二つの自主的審議事項を終了することとした。

このため、今後、審議していく新しいテーマを検討する必要がある。

まず、事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・資料No.1 により説明

【竹内会長】

2年前に戻るような感じになるが、事務局より説明があった。

振り返り、おさらいのようなかたちで、思い出していただければと思う。

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

今後の自主的審議事項のテーマや進め方について、意見交換したいと思う。

2年前も意見を出していただき、テーマ決めを行いながら、意見書の提出まで至ったところである。

これまで自主的審議事項を進めてきた中で、三郷地区の中でいろいろと地域の課題だと思うこと、地域協議会で行いたいこと等、自由に発言いただき、今後につなげたい。

本日いただいた意見等については、すぐに自主的審議事項として決めるというこ

とではない。2年前に戻りながら、自主的審議事項に至るまで、いろいろと議論等をしていきたい。

- ・意見のある委員の発言を求めるがなし。

以前、同様の意見を求めた際も、地区の課題や問題点といった案がなかなか出なかったが、これまで行ってきた中で何かしら思ったこと等、発言願いたい。

保坂副会長、何か意見等あるか。

【保坂副会長】

ある程度、公民館と春駒について自主的審議を進めてきて、新たな自主的審議事項そのもののテーマを決めるのではなく、今一度、最初に地域協議会委員になった頃に皆でいろいろと意見を出し合ったときのように、もう一度、三郷をよくするためにどうあればよいのか、ということ話し合っただけで考えることをしたほうがよいのではないか。

【竹内会長】

地域の変化があるわけだが、やはりある程度は皆で意見出しをしていかなければ、地域住民から意見を吸い上げて、今まで行ってきたことが、何となく元に戻ってしまうような気もする。

渡部委員から順番に発言を求める。

【渡部委員】

問題点しか思い浮かばないが、やはり三郷小学校のことがある。

もう一つは、昔、三郷小学校にあった慰霊碑を覚えているか。その慰霊碑が今は天野原新田の明善寺にあるが、去年の夏に遺族会が解散してしまった。今は、慰霊碑の管理について、宙に浮いてしまっている状態であり、その後始末に関して、三郷地区町内会長協議会長に「どうにかしてもらいたい」といった話がいっているようである。

これは三郷地区全体で考えなければいけない問題ではないか、と私は思っていた。

今考えられる問題点は、以上の二つである。

【竹内会長】

次に、吉田委員の発言を求める。

【吉田委員】

先般の意見交換会の中でも話があったが、渡部委員の発言にもあったように、三郷小学校の統廃合問題を挙げてよいのではないかと考えている。

【竹内会長】

次に、山口委員の発言を求める。

【山口委員】

私は、長く地域協議会委員をしているため、また同じような状況だと思っている。

三郷地区を見ると、個人的にはそれほど大きな課題はないように思っているが、それは私の認識不足かもしれない。

大きな問題としては、三郷地区公民館の活性化に向けて、新たなものをお願いできないかと思い、意見書を出して、市から回答をもらった。

その他に、保育園に通う子供たちの送迎の状況を見ていると、県道なのか、そこに車を止めたり、また以前にそのような要望があったということで、北側のほうに少し農道を拡張して、車を停めたりして送迎している。位置的なものも、非常に厳しいものがあるように感じる。そういったものが、一つの課題として挙げられるのかと思う。

あと、今、出ている課題として三郷小学校が統合して、あと二、三年の間に話が出てくると思うが、その建物の利用、跡地の活用等、体育館が避難所としての指定を受けており、その運営等、いろいろな課題が出てくると思う。

三郷地区のランドマークのような存在であった、三郷小学校のことが今後の課題となるであろう。

また、兼業農家が非常に多い。今後は、農業者の後継者問題等が課題になってくるのかと思う。いろいろあると思うが、私が思い浮かぶことは、そういったものだと思っている。

【竹内会長】

次に、平田伸一委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

まず一点目は、やはり三郷小学校の統廃合関係がある。

これもまさしく、地区公民館のことと一緒にになってしまうのではないか、という感じがする。

地区公民館の増改築を要望している中で、今度は三郷小学校の跡地利用も含めて、どうするのかという話がセットになってくるような気がする。そうすると、少し先送りになるような気がする。

そういう意味で、地区公民館と三郷小学校をセットとして、三郷小学校の行く末といったことを地域の課題として取り上げなければならないと思う。三郷地区全体の中でのコンセンサスを得ているとは、とても思えない。これが実情だと思う。

結果は一緒かもしれないが、やはりプロセスが一番大事だと思う。それを大事にしたかたちでの取り組みは必要な気がする。

そのことが結果として、新しい地区公民館を建てるに当たっての方向性も決まり、できてくるのかと思う。

次に、各種団体との意見交換会の中で、体育振興会会長や民生委員の方がいろいろと意見を出してくれた。

なかなか人が集まらないということの問題提起されたと思う。

そういう中で、老人会の代表からは、昔は四つあった老人会が一つしかなくなったという現状の話があった。

やはりこれからは、人と人とのつながりというものを、もう一度見直しをして再構築していくような、きっかけ作りのようなものが私は必要だと思う。

もちろん、三郷まちづくり振興会もあるが、いろいろな意味で限界もあると思う。

先進地に学ぶことも含めて、地域協議会の中でその辺の課題について、どういう方向性があるのか検討していくことができればと思う。

これについては、「議題（２）地域活性化の方向性について」とも裏腹の関係になると思う。また目指す方向としても、参考になることかと思う。

【竹内会長】

次に、平田清委員の発言を求める。

【平田清委員】

やはり、私も三郷小学校跡地の問題がこれから出てくると思うため、それが審議

していく一つの検討課題かと思っている。

もう一つが、各種団体との意見交換会の中で、「人が集まらない」という意見があった。

人が集まらない理由の一つが、「なかなか周知がされない」というところがあるようだとあった。

団体側から「今度、何々がある」と回覧版で各家庭には回っているはずだが、おそらく、それを見ているのは各家庭の一番長老の人というか、世帯主だけであり、若い人がいたとしても。おそらく回覧版の中身は見ていないのではないかと話の中から感じた。

できることであれば、インターネットを使用した周知の仕方ということを考えてみてもよいのではないかと思った。

例えば、市のホームページの中に、三郷地区の行事予定のようなものを載せる。ただ、それでも見てくれる人はほとんどいないと思う。上越市のホームページまで見る人がそもそもいないのではないかと思う。

だが、登録さえしてもらうことができ、その情報をメール等で発信して教えてくれるような形を作れることができれば、メールが届けば一応は見るようなかたちになる。ただし、登録してくれるか否かという問題もあるが。そういった情報発信の仕方を考えてみることも一つかと考えている。

これは、三郷地区というよりも、上越市全体の問題点かと思うが、その辺も考えてもよいと思っている。

【竹内会長】

次に、菟戸委員の発言を求める。

【菟戸委員】

課題とういうことであるが、先ほどからいろいろと意見が出ているように、農業の後継者不足や、各種団体にしても次に誰からやってもらうのか等、農業だけに関わらず、次の人材が育っていないということが一つの大きな課題かと思う。

それに伴って「農業の課題」「小学校の跡地利用」といったところが出てくるのかと思う。

いずれにしても、小学校の跡地利用は大きな課題だと思う。

実際、「どういった組織」が「どういうふう運営していく」というところまで考えていかなければ、なかなかうまくいかないのかと考えている。個々に見ると物理的な課題はたくさんある。ただ、それに対して、ソフト面での次の人材をしっかりと育成していくといったところが、いろいろな課題を解決していく上での最たる課題かと考えている。

【竹内会長】

次に、小山委員の発言を求める。

【小山委員】

私もやはり、三郷小学校の統廃合問題が気になる場所である。

実際、話し合いをしているのだと思うが、やはりそれが一般の人に結果というか、話し合い自体が伝わらないことのほうが多いと思っている。そのため、もう少し話をクリアにするというか、伝えていける工夫をしてほしいと思うところでもある。

【竹内会長】

次に、伊藤光夫委員の発言を求める。

【伊藤光夫委員】

意見が出ているように、私も三郷小学校が統廃合された後の跡地の利用や活用について気になる。

新聞に掲載される等、話がここまで進んでいけば、市としても大まかではあるが、どういう方向で体育館、校舎を使う、あるいは、土地をどうするのか等、方向性が出ているだろうと思うので、少しずつでも地域協議会や町内会長協議会等、いろいろなところに情報を出していただきたい。

自主的審議の中でも、そういったものを参考にして、公民館新築のお願いをしているが、三郷地区はどっちで進んでいく、ということが分かり、もっと具体的に話し合っていくことができればよい。

次に、後継者、いろいろな問題であるが、三郷地区としても圃場整備、地区として進んでいくという話も、先回の会議で、いろいろな団体との会議でも話を聞いたが、そういうことで、今はコロナ禍で町内でも人が集まって話す、あるいは意見交

換する場や機会がないため、小さな町内の単位、三郷地区としての、少しずつだが、どうしたら三郷で皆が協力し、助け合っていけるのか、ということの第一段階として、どういう方法があるのかということを経済協議会で話し合ってもよいのではないかと。

【竹内会長】

次に、市村委員の発言を求める。

【市村委員】

私を感じている問題として、三郷地区に限った話ではないが、少子高齢化とそれに付随する問題がすごく大きいと思っている。

高齢者のみの世帯が増えてきているような印象もあり、亡くなってしまった後は空き家になってしまうため、空き家も増えてきているような印象である。

また、子供が少なくなっていることも、この数年で加速度的に進んできており、小学校の統廃合問題も出てきている。

これで小学校が無くなってしまうと、跡地利用も考えていかなければいけない。今まで、小学校が中心となっていた活動もなくなる。

それがなくなることによって、地域住民とのコミュニケーションの場もどんどん減っていく。

少子高齢化が進むことにより子供が少なくなっていくって、どんどんと先細っていくようなイメージしかない。

子供が少なくなっていくことに対して、増やしていく方向に行くのか、それとも先細って緩やかに衰退していく中でも地域の中でコミュニケーションを取り、明るい老後を過ごしていくのか、その二択であると個人的には思っている。

「どのようにしていくことがよいのか」ということは、三郷地区だけでどうにかなるような問題でもなく、上越市の行政も関わって「どのような地域にしていきたいのか」ということも明確にするビジョンを見せていただかなければ、難しいと思う。

三郷小学校の統廃合問題のとき、教育委員会の担当者に質問をした際、上越市としては「少子化は既定路線」といった感じであり、増やしていくようなアイデアも

あるのかもしれないが、そういった回答は得られなかった。そのため、残念ではあるが、人数が減っていく中でどうするのかということを考えていかなければいけないのかと思っている。課題というか、今、私が思っていることを簡単に述べた。

【竹内会長】

次に伊藤副会長の発言を求める。

【伊藤副会長】

他の委員の意見とほぼ一緒であるが、一つはやはり、三郷小学校の統廃合問題が近い問題かと思う。

だが、それだけにとらわれず、各地域にもいろいろな課題等もあると思う。各自、地域に戻っていろいろな課題を自分なりに見つけて、小さい課題かもしれないが、一つ一つ潰していくことで、地域がより活性化していく方向になると思う。

小学校の統廃合問題だけにとらわれず、小さい問題点も皆と一緒に協議していきたい。

【竹内会長】

私が課題に思っていることは、他の委員とほぼ同じである。

三郷小学校の統廃合問題、農業活性化についての問題、高齢者ばかりで担い手がない、といったところがある。

正直、この前の会議ではそういう話もしてきたところである。

担い手がないため、田んぼができない。地域の農業法人を丸投げで違う企業が請負う等、そのような問題が出てきている。

なかなかやり手がない、農業法人を立ち上げたが、そこすらも次の担い手がない。高齢化している。

そういったかたちの中で、地域協議会でいろいろと協議していかなければいけないところがたくさんある。

さすがに、地域協議会委員になったばかりの2年前と比べて、皆、ベテランになってきたというか、意見等をたくさん出してもらっている。残された任期の中でテーマ付けをして、自主的審議事項にまで広げていくことができればよい。

本日いただいた意見をまとめ、次回につなげたいと思う。

テーマ決めまでしなくてもよいと思う。公民館班もぎりぎりまでテーマは決めなかったわけである。「地域の活性化につなげる公民館との在り方」というテーマとするまでは、テーマを決めずに議論を続け、最終的にテーマを決めた。自主的審議事項として、意見書の提出までこぎつけたところである。

地域協議会の中でいろいろな協議をしながら、ある程度テーマを決めた中で、次のステップとして進めていきたいと思っている。

本日いただいた意見を正副会長と事務局で取りまとめ、次回につなげていきたい。

【平田伸一委員】

11月29日に行った各種団体との意見交換会のメモを見ていたが、子供たちの育成、高齢者だけではなく、やはり世代間交流も念頭に置いた何かが必要なのかと思った。

追加というか、それも一つ入れていただければと思う。

【竹内会長】

確かにそうである。各団体もそうであるが、ある程度、年齢層が揃ってしまう。

意外と三郷区の地域協議会は、若い人もいれば高齢者もいるため、ある程度バリエーションに富んでいる。だが、他区では、年齢層が固まっているような区もあり、あまり発言することができない人もいるようである。

団体の若い人等も交えたかたちの意見交換もよい気がする。そういったことも含めて、次につなげていきたいと思っている。

・また皆で議論をしながら進めていきたいと思うがよいか確認し、了承を得る。

以上で、次第3 議題（1）自主的審議事項について を終了する。

— 次第3 議題（2）地域活性化の方向性について —

【竹内会長】

次第3 議題（2）地域活性化の方向性について に入る。

11月29日に行った各種団体等との意見交換会で、地域活性化の方向性の作成に向け、地域の課題や三郷区のよいところについて、団体等から意見をいただいた。

前回の会議では、団体等からいただいた意見をまとめた資料が配布され、事務局から報告を受けたところである。

本日は、方向性の構成要素等について、アイデア出しを行うため、2班に分かれてグループワークを行いたいと思う。

事務局より説明を求める。

【難波主任】

- ・参考資料により説明

【竹内会長】

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

各班に分かれてグループワークを開始する。

— グループワーク（約45分） —

会議を再開する。

各班より概要を発表していただきたいと思う。

2班より願う。

【吉田委員】

2班の発表を行う。

「風景」については「越後三山の四季をPR」「三郷田園風景の発信」「火打山、妙高山等の美しい景観を望み生きる町民の発信」「田んぼの水面に映る夕日」、「田んぼに来る白鳥」「蛍」「赤とんぼのふ化」「写真スポットになる、映える風景の発信」といった意見が挙げられた。

「人」については「三郷の偉人伝」「歴史的人物の発掘」「地域づくりのリーダー、人材の育成」、そして「育成組織の設立」との意見があった。

「農業」については「コシヒカリの特産地、三郷米ブランド化の企画」「農産物の新幹線による首都圏への発送」「収穫までの体験農業及び収穫物の試食等の企画の実施」、体験農場については、他に二件、同じ内容である。

次に「歴史」については、国分寺が多いため「国分寺の発掘」、そして「忠霊塔」「三郷の歴史写真を合わせてデータ化する」「月の影、人、イベント」「偉人は過去の拠点、ロマンの追及」という意見があった。

「文化芸能」については「町内伝統行事の継承及び春駒の伝承」、春駒については、同一内容で5件出ている。

「福祉」については「安心できる老後のケア及び事業所への働きかけ」「少子高齢化」と「空き家」「高齢者が安心して暮らせる地域福祉の推進」である。

次に「食」については、公民館利用で調理をしているクラブ等で「三郷の米や野菜を使用したメニュー等の開発」「三郷の特産品の開発と企画」「米作り」「味のPR」「三郷ブランド米（仮称）イメージの向上」「三郷の特産品の発掘」ということである。

「交通」については「国道18号線、主要県道へのアクセスが良好であり、立地を利用して人を集める」、あとは北陸新幹線が最寄り駅ということで「車で10分」「便利な北陸新幹線及び近傍の海、山へのアクセス」、同じように「新幹線までのアクセスがよい」という点である。

「その他」については「空き家や空き地の整備」によって「農家の新規就農支援」「農民泊の企画」「空き家や耕作放棄地の活用」「地区イベントの実施」が4件、体育大会や夏祭り、文化祭については2件出ている。

また、「老人会の拡充（名称変更を含む）」「バイオプラスチック」、また、これまで三郷地区には大きな災害がないという点である。

2班については、以上の結果となった。

【竹内会長】

質問等については、二つの班の発表終了後にまとめて求めたい。

次に、1班より発表願う。

【伊藤副会長】

1班の発表を行う。

「風景」として「妙高山」や「田園風景」、あとは花のプランター等を生かして、それを写真で残すようなイベントを行い「風景を生かしてPRしていく」といった意見が出た。

「歴史」としては「三郷の歴史、史跡等」「国分寺等の学習会を設置、企画」といった意見があった。

次に「人」としては「世代間交流」「若い世代との意見交換会等」「世代間交流できるイベントを定期的で開催する」、あとは気持ちのよい人が多いため「人と人をつなぐ活動をしていく」ということである。

次に「農業」として、農業体験等の「農業を生かしたことを行う」「美しい風景を生かした新しい農業」として、田んぼ等に花を植えて、他の場所でも行っているようなイベントや、観光名所のようなものを作るということである。あとは、三郷米を作り、それをブランド化して、全国に発信するといった意見があった。

次に「福祉」でも「人と人とのつながり」、あとは笛吹の郷もあるので、そういった「福祉施設との交流」といった意見があった。

また、人と福祉をつなげる中で、携帯電話等の「IT機器の使用法の講習会の開催」といった意見も出た。

次に「交通」として、新幹線の駅から10分ほどの立地であることを生かして、「交通の便のよさをアピールする」、それに伴い、先ほどの「風景」もそうだが、県道等の道沿いに花を植えて、三郷区内で揃えて綺麗にするという意見があった。

次に「文化芸能」として、春駒の伝承を三郷だけではなく、いろいろなところでPRするという意見が出た。

あとは、「盆踊り等の復活」「文化祭等の開催」といった意見が出た。

次に「その他」として「地域の子供たちを支える地域組織」「子供たちを健全に育てる組織作りをする」という意見が出た。

あとは、空き家等があるため、「木を伐採して有効活用する」ということで、薪ストーブ等をしている人もいるので、一緒に伐採等に行って再利用するという意見も出た。

あとは「あぐりフューチャー上越との共同企画」として、地元業者等のいろいろな企画があるようなので、そういったところとコラボレーションして地域を活性化していく、という意見が出た。

「食」については、なかなか意見が出なかったが、農業、米があるので、ブランド米を作って地域を広めていく、ということも多分、出てくると思う。

説明不足で申し訳ないが、1班の発表は以上である。

【竹内会長】

- ・今ほどの各班の説明に質疑を求めるがなし。

細かいところまで発表していただいたため、特に分からない点はないかと思う。

1班、2班ともに、ほぼ同じ方向性なのかと思った。

時間的な制限等はないが、「地域活性化の方向性」が完成している区は、参考資料としても配布した、牧区、板倉区、名立区、頸城区くらいである。合併前上越市は、まだまだこれからであり、説明もこれからだという区もある。そのため、どちらかという、三郷区は進んでいるほうかと思っている。

ある程度、構成要素のようなものが、今回のグループワークで出てきたと思うので、これを地域に発信しながら「地域活性化の方向性」の作成に向けて進めていきたい。二つの班に分かれて意見交換を行い、非常によい意見も出ていた。

私がいた2班では、雑談の中でもいろいろな話も出て、それだけでも「地域活性化の方向性」ができるのではないかと思うような話も出ていた。非常によかった。

本日いただいた意見を整理し、「地域活性化の方向性」の作成に向けて次回の会議につなげたい。

以上で、次第3 議題（2）地域活性化の方向性について を終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【竹内会長】

次第4 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・次回会議開催日は、事情により当初の予定から変更

令和5年3月1日（水） 午後6時30分から 三郷地区公民館

- ・当日配布物：地域協議会だより第51号

ウィズじょうえつからのおたより

【竹内会長】

- ・事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は、全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。